



平成 22 年 2 月 15 日

各 位

会 社 名 富士フイルムホールディングス株式会社

代 表 者 の

役 職 氏 名 代表取締役社長 古 森 重 隆

(コード番号：4901 東証第一部・大証第一部・名証第一部)

問 合 せ 先

責 任 者 経営企画部 IR 室長 吉 沢 勝

電 話 番 号 03 (6271) 1111

インフルエンザ治療薬「T-705」(ファビピラビル) 米国での臨床第Ⅱ相試験開始のお知らせ

当社の子会社である富山化学工業株式会社(以下、富山化学)は、米国においてインフルエンザ治療薬「T-705」(一般名：ファビピラビル)の臨床第Ⅱ相試験を開始しましたのでお知らせします。

米国では 2007 年 3 月より臨床試験を開始していますが、今回の臨床第Ⅱ相試験では、A 型あるいは B 型のインフルエンザに感染した患者さんを対象に、T-705 の高用量および低用量と偽薬(プラセボ)との二重盲検試験を実施します。

日本国内では、臨床第Ⅱ相試験において、新規メカニズムである RNA ポリメラーゼ阻害剤がヒトでも薬効を示すことを確認しており、2009 年 10 月 29 日から新型を含むインフルエンザの患者さんを対象に臨床第Ⅲ相試験を実施しています。

これまでのインフルエンザ治療薬は、ウイルスが細胞から遊離するのを阻害し他の細胞への感染拡大を防ぐものですが、直接ウイルスの遺伝子複製を阻害するという新しいメカニズムを有する T-705 は、近年問題となっている耐性化への対策としても、インフルエンザ治療に新しい選択肢を提供することになり、極めて有用であると考えています。

富士フイルムグループは、先進独自の技術で人々のクオリティ・オブ・ライフ向上に貢献する事業活動をグループ力を結集して進めており、メディカルシステム・ライフサイエンス事業を重点事業の一つとして経営リソースを集中し、成長戦略を推進しています。その中で、富山化学は研究開発型企业として、「新薬の開発を通じて世界の医療の発展に貢献する」ことを目指していきます。

以 上